

優等生

Honor student of
Elf Academy

もちんち

Presented by



玉座の学園





マクスウェル

君の論文
「異界エネルギーと
次元間魔法の
相互作用」

非常に
興味深
い内容
だった

ありがとう
ございます

マクスウェル
あだ名：マックス

実はな

えっ
どうい
うこと
ですか？

これなら我々も
安心して君を
送り出せる

そこで
君を推薦する
ことにした

今回
エルフ学園側から
優秀な学生を
送ってほしいと
打診があった





深い森の奥にある
エルフの学園

6000年以上の
歴史を持つ

かつては
伝説と言われた
知の楽園

エルフは
不老長寿で
学問に
生涯を費やす

人間では
到達できない
智慧を蓄えている
という



こうして
ボクは新たな地に
移る事になった



歴代でも
エルフ学園に
招待された人間は
数えるほど

これは
とても
名誉なことだ

君ほどの
才能なら
あそこでも
やっていけるだろう

転校して
二か月後

回復の魔法を
唱える際に
やっけるは
いけない事
は
なんだい？

わかりませーん

ぐー…

何年前に
習ったよう
な習わな
かったな
ような…

興味なーし

やれやれ

マックス
わかるかい

は…はい

複数人で
かけない事
です

理由は？

魔力の差や
魔法の効果
が混在で予
期せぬ効果
が表れるか
らです

その通り

あんた達も
マックスを
見習いな



いつも
勉強して
ますもの
ね

ちゃんと
答えられ
ましたね



えらい
えらい



彼女の
名は
エレノ
ア

人の言う
賢者の域など
いつかは
到達する
領域
なのだ
から

エルフの
寿命は
人から
したら
永久に
思える
ほど
長い

今を必死に
駆け抜ける
必要が
無い

それゆえ
修学意識が
低い





エルフ学園は
学級崩壊
していた

エルフ側が
優秀な学生を
求めたのも
この状況を
たまたまが目的
だったと言う

学園の質の
あまりの
低下ぶりに
ボクは
啞然とした



理想と
現実のギャップ

打ちひしがれ
図書室で
ボクが
泣いてると

大丈夫
ですか？

こんな所で
一人で
泣いてるなんて

心配し
声をかけて
くれたのが
エレンアだった

新たな環境に
馴染めず
帰ることも
出来ない



色々
事情が
あったのですね

不安になったら
私がそばに
います

まだまだ
私も
未熟者ですが

私と一緒に
学んで
いきましよう



それから
僕は学園生活に
勤しんだ

彼女の勉強を
見てあげたり

一緒に課題を
やったり

研究を
手伝って
もらったり

二人で
行動する
うちに

彼女を通じて
少しずつ
エルフ学院に
慣れていった



そんな
ある日

マックス
教えて
ほしい事が
あるんだけど

何だい？

ふえらちお
つて
何かしら？



図書館に
あった小説を
読んでたら
この描写が
何なのかわ
からなくて

それはその
あの…

色々な事を
行ってるけど
一体
どういう事？

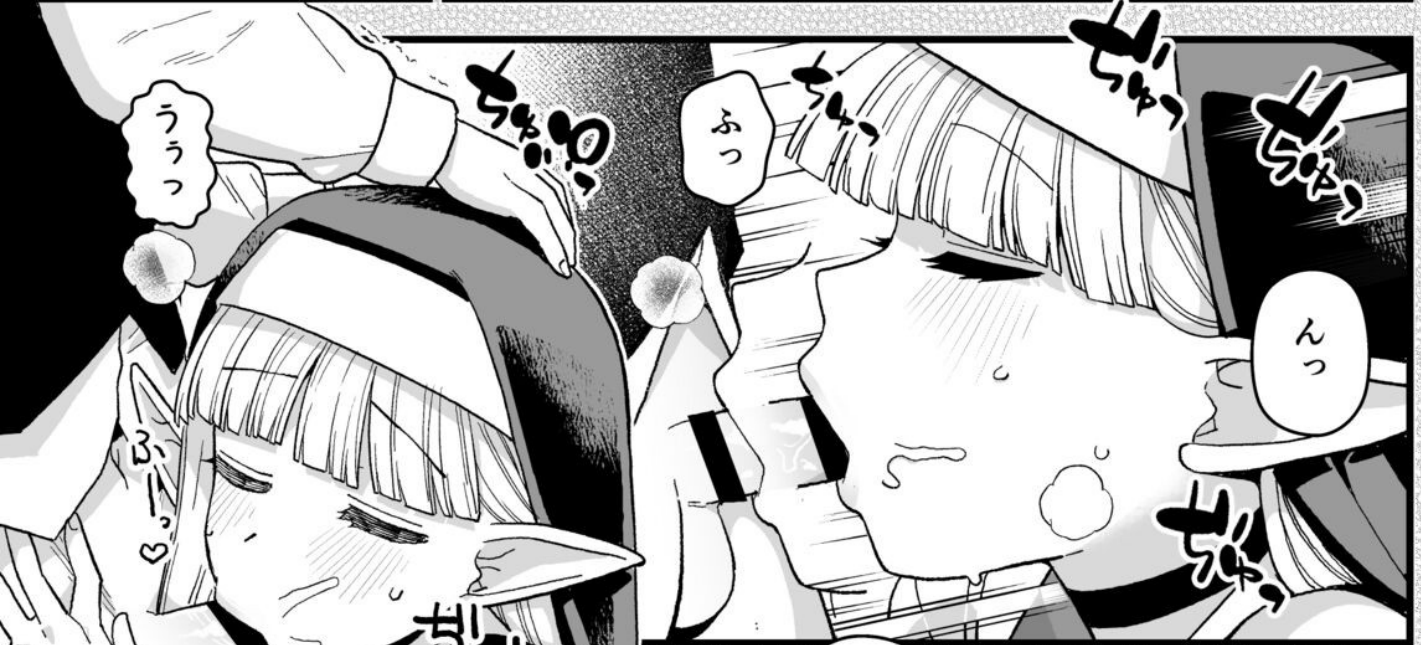
特別に仲良い
ヒトたちが
する行為で…

じゃあ
私たちも
やってみ
ましょう！

えう

何で
そんな本が
あるんだ







出る



舌が止まらない

熱い…

ちゅる…

ちゅるっ♡

は、



けほっ…
すごい勢い

私上手く
できた？

うめ…

う…うん

ご…ごめん
エレノア



すごいです！
私感動
しました

本で読むのと
実際にやるのは
大違いですね

これぞまさに
「経験に勝る
学習なし」ね

えっ

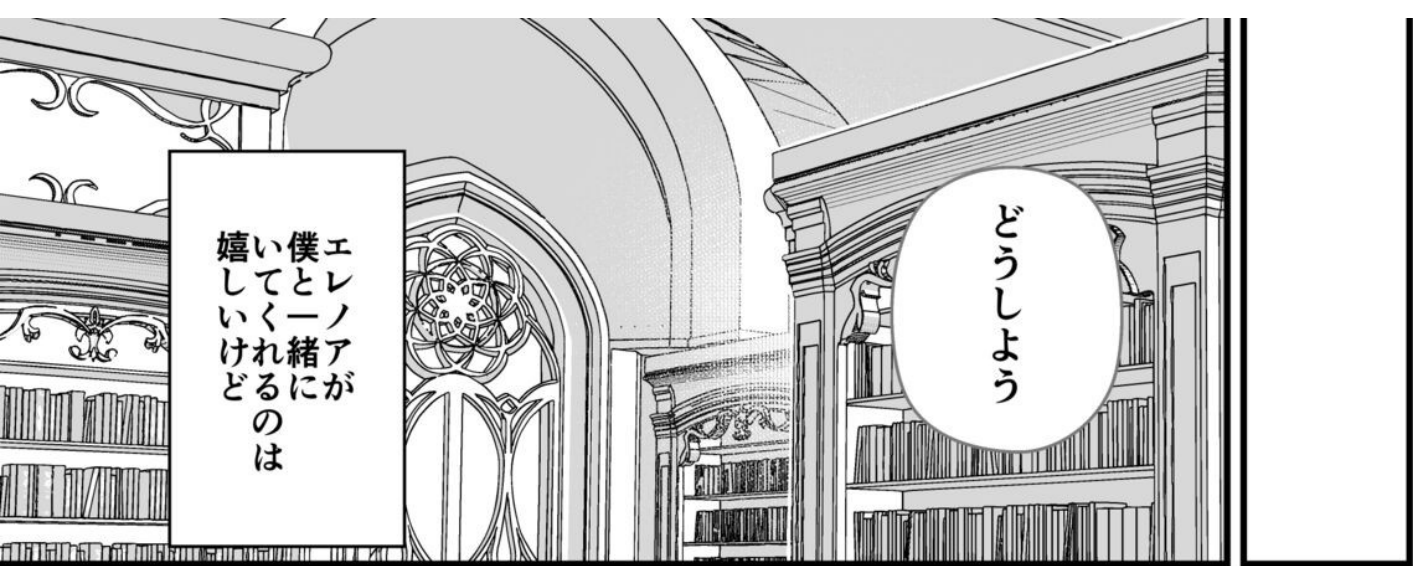


これから
色々やってみ
ましょう！

ススススス







どうしよう

エレノアが
僕と一緒に
いてくれるの
は嬉しいけど

スキんシップの
方法が
ちよつと
過激すぎる



最近
は日増しに
ああいった
行為が
増えていく…



本人に
自覚が無いから
怒れないし

このままじゃ
勉強も
ままならない



こんな
図書館の奥で
コソコソ
しないで…

誰も
来ないのに

頭の上に…

エレノアの…



みつけた







だったら
私たちも
協力したのに

エレノアには
懷いてたしね

もっと
エルフを
知ってもらおう

この本の
通りにすれば
いいの？



それじゃあ

みんな
仲良く
しましょう

順番
どする？

みんな
一緒で
いいんじゃない？



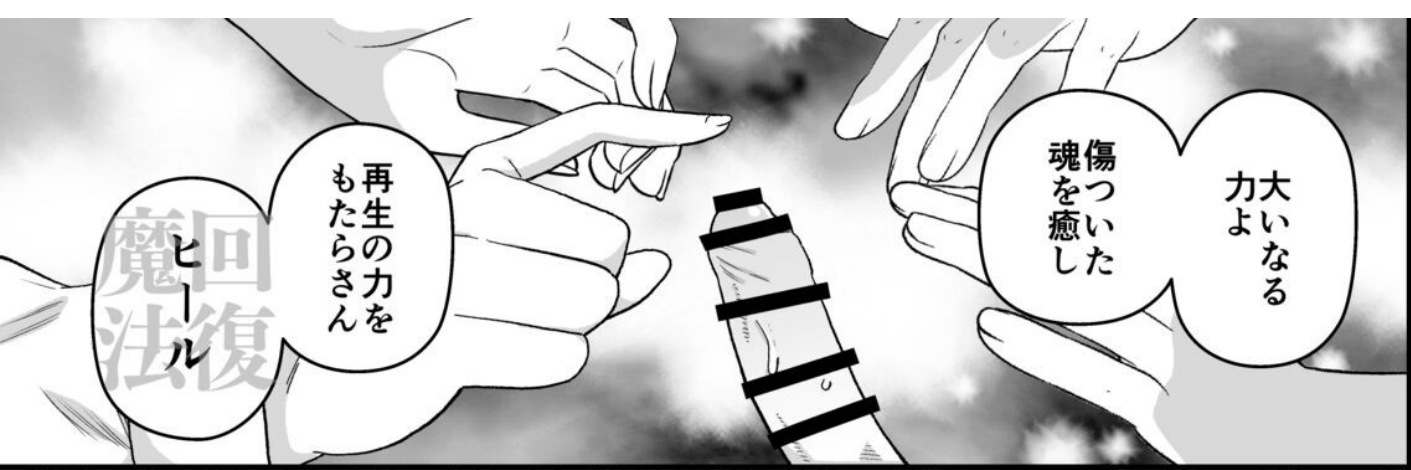


みんなの
魔法で
治して
あげましょ

あれ
縮ん
じや
った？

はー

わーっ
水鉄
砲み
たい
に出
た





本で読んだので調べましたの

んっ...

ぎぢぎぢで苦しそう

今癒してあげますね

ぐぐぐ...

こうして中から繋がるって...

くちゅ...



ちゅっ♡

はあ♡

ほらこうすればいいって♡

セックス...

これ













マクスウェル!

仲良く
しましうね

これからも
ずっと

あとがき



初めましての人は初めまして
いつも読んでくれてる方
お久しぶりです

約一年ぶりの成人向けの
同人誌です

今回の漫画は元々SNS上で
冗談で描いた

『エルフが成人するのに数十年かかるとしたら
物覚えがめちゃくちゃ悪い生き物という可能性もある』
という一枚のネタ絵を基に話を広げてみた漫画です

楽しんでいただけたら幸い。
感想等も
お待ちしております

エルフ学園の優等生

発行日 : 2024年8月12日
サークル名 : もちんち
発行者 : も
Twitter : @kireina_mochi
連絡先 : mo_chinchi@yahoo.co.jp

- この作品はフィクションです。実在の人物・作品・団体・出来事などには関係ありません。
- 18歳未満の閲覧は禁止です。本書の転載、編集、トレース、転売、使用を禁止します。
- Please do not share or translate my work on the Internet without permission.
Doing so will prevent me from receiving compensation
- This is a work of fiction. Any resemblance to actual persons, living or dead, works, organizations, events, or locales is entirely coincidental.
- ADULTS ONLY 18+. DO NOT REPOST, EDIT, TRACE, RESELL OR USE MY WORKS.